

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）の進捗について

報告内容

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）に掲載している事業の進捗状況（令和6年度末時点）を報告します。

1 スポーツ推進計画に掲載している事業数

96事業

※事業名等の詳細は別紙1のとおり

2 各事業の進捗

進捗管理票（別紙2及び参考資料）のとおり

（1）年次計画・成果指標を記載している事業（別紙2）

取組の年次計画及び成果指標を掲載している事業について、令和6年度末における進捗を記載しています。

なお、事業の取組や成果の進捗は以下の区分で示しています。

- a：後期3年間の目標を上回って達成する見込みである。
b：後期3年間の目標に到達する見込みである。
c：後期3年間の目標に到達するには、改善が必要である。
－：指標値を把握できない。

《進捗状況別事業数一覧》

進捗状況	a	b	c	－	計
事業数	3	0	0	0	3

（2）その他の事業（参考資料）

年次計画・成果指標を記載していない事業（別紙2以外の事業）について、令和6年度末における進捗を記載しています。

スポーツ推進計画掲載事業 担当課一覧

基本目標 1 誰もが気軽に楽しみ継続できるスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)スポーツ活動に親しむきっかけづくり	－	①地域スポーツ教室の開催	42	生涯学習スポーツ振興課
	－	②みなと区民スポーツ・体育祭の開催	42	生涯学習スポーツ振興課
	－	③MINATO シティハーフマラソンの開催	43	生涯学習スポーツ振興課
		④スポーツを通じた国際交流の推進	43	生涯学習スポーツ振興課
(2)子どものスポーツ活動の促進	－	①子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	44	生涯学習スポーツ振興課
	－	②幼児の体力増進の取組	44	生涯学習スポーツ振興課
	－	③小・中学校、幼稚園での体力向上の取組	44	生涯学習スポーツ振興課/教育指導担当
		④部活動指導員の活用	44	教育人事企画課
	－	⑤「放課 G0→」・「放課 G0→クラブ」での体力向上の取組	45	各総合支所管理課/子ども若者支援課/生涯学習スポーツ振興課
	－	⑥児童館・子ども中高生プラザでの体力向上の取組	45	各総合支所管理課/子ども若者支援課
	－	⑦小学校における連合運動会等の開催	45	教育指導担当
	－	⑧中学校における体育大会等の開催	45	教育指導担当
	－	⑨特別支援学級合同運動会の開催	45	教育指導担当
	新規	⑩MINATORIZMダンスフェスタの開催	45	教育長室
(3)子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の促進	－	①スポーツセンター等での夜間の教室開催	46	生涯学習スポーツ振興課
	－	②子育て世代のスポーツ活動への参加促進	46	生涯学習スポーツ振興課
	－	③働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	46	生涯学習スポーツ振興課
	－	④働き盛り世代への運動プログラムの周知	46	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課
	重点	⑤オンライン配信によるスポーツ機会の充実	46	生涯学習スポーツ振興課
(4)高齢者のスポーツ活動の促進	－	①高齢者向けスポーツ教室の実施	47	生涯学習スポーツ振興課
	－	②さわやか体育祭の開催	47	各総合支所管理課
	－	③いきいきプラザ各種教室及び講座の開催	47	各総合支所管理課/高齢者支援課
	－	④港区老人クラブ連合会の支援	47	保健福祉課/生涯学習スポーツ振興課
(5)スポーツ観戦機会の創出	－	①「みる」スポーツの機会創出	48	生涯学習スポーツ振興課
	重点	②スポーツ大会・試合・催し物の誘致	48	生涯学習スポーツ振興課
	－	③スポーツ大会等の情報発信	48	生涯学習スポーツ振興課

(6)競技スポーツへの参加支援	－	①区民大会等の開催	49	生涯学習スポーツ振興課
	－	②定期練習会の開催	49	生涯学習スポーツ振興課
	－	③指導員付個人公開の実施	49	生涯学習スポーツ振興課
	－	④トップアスリート及び企業の実業団チームとの交流	49	生涯学習スポーツ振興課
(7)スポーツ情報の提供	－	①積極的なスポーツ情報の提供	50	生涯学習スポーツ振興課
	－	②スポーツ施設等の利用に関する情報の提供	50	生涯学習スポーツ振興課

基本目標 2 スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)スポーツボランティアの育成と活用	－	①スポーツボランティア活動の普及と定着	51	生涯学習スポーツ振興課
	－	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施	51	生涯学習スポーツ振興課
(2)スポーツ指導者の確保と活用	－	①部活動指導員の活用〔再掲〕	52	教育人事企画課
	－	②武道における外部指導員の活用	52	教育指導担当
(3)地域スポーツ団体等の支援と充実	重点	①総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)への支援	53	生涯学習スポーツ振興課
	－	②スポーツ推進委員協議会の活動支援	54	生涯学習スポーツ振興課
	－	③(一財)港区体育協会への支援	54	生涯学習スポーツ振興課
	－	④社会体育団体への支援	54	生涯学習スポーツ振興課
(4)スポーツ活動を支える団体等との連携	－	①(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団との連携	55	生涯学習スポーツ振興課
	－	②(一財)港区体育協会との連携	55	生涯学習スポーツ振興課
	－	③競技団体との連携	55	生涯学習スポーツ振興課
	新規	④団体支援を通じたスポーツ振興の充実	55	生涯学習スポーツ振興課

基本目標 3 スポーツを楽しむ場の確保と利用促進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)区立スポーツ施設等の計画的な整備と充実	－	①区立スポーツ施設等の充実	56	生涯学習スポーツ振興課
	新規	②新たなスポーツ施設の整備	56	生涯学習スポーツ振興課
	新規	③スポーツ施設の計画的な維持保全	56	生涯学習スポーツ振興課
		④公園や児童遊園、歩道の整備	57	土木課
		⑤校庭の整備等、学校における運動環境の充実	57	学務課/学校施設担当
		⑥プレーパークの推進	57	各総合支所まちづくり課/土木課

(2) 学校施設の活用 の推進	—	①校庭・体育館等の開放	57	生涯学習スポーツ振興課
	—	②学校屋内プールの開放	58	生涯学習スポーツ振興課
	—	③遊び場開放事業の実施	58	生涯学習スポーツ振興課
	—	④園庭等の開放	58	学務課
(3) 区内企業・大学等のスポーツ施設の活用 の推進	—	①企業・大学等のスポーツ施設等の活用	58	生涯学習スポーツ振興課
	—	②区外における運動施設の活用	58	生涯学習スポーツ振興課

基本目標4 障害者がスポーツに親しめる環境づくりと理解の促進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1) 障害者のスポーツ活動の推進	—	①障害者のスポーツ教室の開催	59	障害者福祉課
	—	②いちょう学級の実施	59	障害者福祉課
	—	③パラスポーツ指導員の配置	59	生涯学習スポーツ振興課
		④スポーツ活動の場の確保	59	
(2) 障害者のスポーツ環境の充実	—	①障害者スポーツ用具の充実	60	生涯学習スポーツ振興課
	—	②障害者のスポーツ環境の整備	60	生涯学習スポーツ振興課
(3) 障害者スポーツを通じた交流の推進	—	①障害者スポーツの観戦・体験機会の実施	61	生涯学習スポーツ振興課
	新規	②教育プログラムの実施	61	生涯学習スポーツ振興課
	—	③スポーツ活動の場の確保 [再掲]	61	生涯学習スポーツ振興課
	—	④障害者スポーツ大会等の誘致	61	生涯学習スポーツ振興課
(4) 障害者スポーツへの理解の促進	—	①障害者スポーツの理解の推進	63	生涯学習スポーツ振興課
	—	②障害者スポーツの普及・啓発	63	生涯学習スポーツ振興課
	新規	③障害者サッカーを通じた共生社会※の実現	63	生涯学習スポーツ振興課

基本目標5 港区の特性や資源を活用したスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1) 港区の特性を生かしたスポーツ活動の推進	—	①観光資源を活用したスポーツ活動の実施	65	生涯学習スポーツ振興課
	—	②立地特性を生かした催し物の実施	65	生涯学習スポーツ振興課
(2) 区内企業等との連携によるスポーツ機会の創出	—	①トップアスリート及び企業の実業団チームとの交流[再掲]	66	生涯学習スポーツ振興課
	—	②企業との連携協定	66	生涯学習スポーツ振興課
	—	③ラグビーを生かしたスポーツ振興	66	生涯学習スポーツ振興課

	新規	④障害者サッカーを通じた共生社会※の実現 [再掲]	67	生涯学習スポーツ振興課
		⑤総合支所の地域事業を通じたスポーツの推進	67	生涯学習スポーツ振興課
(3) 東京 2020 大会等のレガシーの継承・推進	—	①MINATO シティハーフマラソンの開催 [再掲]	68	生涯学習スポーツ振興課
	—	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施 [再掲]	68	生涯学習スポーツ振興課
	—	③東京 2020 大会のレガシーの継承	68	生涯学習スポーツ振興課
(4) 先端技術を活用したスポーツ活動の推進		①先端技術を活用した新たなスポーツの楽しみ方の創出	69	生涯学習スポーツ振興課
	重点	②オンライン配信によるスポーツ機会の充実 [再掲]	69	生涯学習スポーツ振興課

基本目標6 健康づくりにつながるスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1) 健康づくりのための身体活動の推進	—	①健康づくり自主グループの育成及び支援	71	健康推進課
	—	②健康づくりサポーターの育成及び支援	71	健康推進課
	—	③ウォーキング&サイクリングマップを活用した日常的な健康づくり	71	健康推進課
	—	④健康講座の開催	71	健康推進課
	—	⑤「港区子ども健康読本」の発行	72	健康推進課
	新規	⑥子どもの健康な身体づくりに向けた食育の推進	72	学務課
	—	⑦「親子ふれあい広場」での催し物の開催	72	子ども家庭支援センター
(2) 介護予防等に向けた取組の展開	—	①介護予防を担う人材の養成	73	高齢者支援課
	—	②介護予防体操(みんなといきいき体操)の普及	73	高齢者支援課
	—	③介護予防事業の充実	73	高齢者支援課
	—	④認知症予防事業の実施	73	高齢者支援課
	—	⑤高齢者向けスポーツ教室の実施 [再掲]	73	生涯学習スポーツ振興課
(3) スポーツと健康づくりの活動拠点の充実	—	①スポーツと健康づくりをともに支える環境の充実	74	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課
	—	②健康増進センター(ヘルシーナ)における健康増進の取組の実施	74	健康推進課
	—	③介護予防総合センター(ラクっちゃ)における介護予防に係る取組の実施	74	高齢者支援課

<進捗状況の区分>
a:後期3年間の目標を上回って達成する見込みである。
b:後期3年間に到達する見込みである。
c:後期3年間の目標に到達するには、改善が必要である。

No.(基本目標－施策－事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	オンライン配信によるスポーツ機会の充実	担当課	生涯学習スポーツ振興課	
1-(3)-⑤		46	○	－					
事業・取組の内容		新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツをする場の変化を踏まえ、アフターコロナに向けて、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しむことができるように、各種スポーツ教室や催し物などの様々なスポーツコンテンツのオンライン配信の充実を図る。							進捗状況
									a
			前期	後期3年間				実績の評価(令和6年度)	事業の課題や改善が必要な事項
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
取組目標	オンライン配信によるスポーツ教室数	年次計画	12教室	6教室	7教室	8教室	・各配信を同じ講師が担当し、タオル体操やかんたんエアロビクスなど継続性がある内容を配信した。また、運動の強度を低めに設定することで、幅広い年齢の方が気軽に参加できる機会を提供した。	・講師や内容に関する視聴者の要望を踏まえたコンテンツの制作が必要。	
		実績	4教室 (1)東京eデュアスロン2024 (2)10分簡単エアロビクス (3)10分簡単ストレッチ (4)20分お家イス体操 (1)は新規、(2)～(4)は録画配信でR4から継続	6教室 (1)タオル体操&かんたんエアロ (2)かんたんエアロその1 (3)かんたんエアロその2 (4)かんたんエアロその3 (5)かんたんエアロ総集編 (6)タオル体操					
成果指標①	参加者数／年間	指標①	660人	2,500人	2,700人	2,800人	・YouTubeでの録画配信としたことで、いつでもどこでも気軽に視聴が可能となり、指標を大きく上回る実績となった。 ・視聴者からも好評で、在宅でも気軽にスポーツに親しむ機会を提供することができた。	今後の取組 ・引き続き、幅広い年齢の方々が気軽にスポーツを楽しめるコンテンツを制作・配信していく。	
		実績	441人 (1)東京eデュアスロン2024:79人 (2)簡単エアロビクス:267人 (3)10分簡単ストレッチ:42人 (4)20分お家イス体操:53人	4,434人 (1)タオル体操&かんたんエアロ:460人 (2)かんたんエアロその1:146人 (3)かんたんエアロその2:109人 (4)かんたんエアロその3:584人 (5)かんたんエアロ総集編:693人 (6)タオル体操:136人					
成果指標②	－	指標②	－	－	－	－			
		実績	－	－	－	－			
成果指標③	－	指標③	－	－	－	－			
		実績	－	－	－	－			

No.(基本目標－施策－事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	スポーツ大会・試合・催し物の誘致	担当課	生涯学習スポーツ振興課	
1-(5)-②		48	○	－					
事業・取組の内容		トップアスリートによるスポーツ大会や試合、催し物を誘致することで、トップアスリートの競技を間近で観戦し、スポーツの興奮や感動を共有する機会を提供する。						進捗状況	
								a	
			前期	後期3年間			実績の評価(令和6年度)	事業の課題や改善が必要な事項	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
取組目標	スポーツ大会等の誘致数	年次計画	4回	5回	5回	5回	・区内企業が有するチームやトップアスリートによる試合だけでなく、体験会や教室等のイベントを呼び込むことにより、トップアスリートによる技術や指導を参加者が直接体感できる機会を増やすことができた。 ・障害者サッカーの親善試合の開催により、区民に障害者スポーツの迫力を間近で観戦できる機会を提供し、障害者スポーツへの理解を促進することができた。	・様々な競技種目のトップアスリートによる大会など、スポーツが有する多くの魅力をこれまで以上に提供することが必要。 ・今後も障害者スポーツの大会等を誘致し、観客動員を込む場合、大会当日の運営や参加者を含めた会場への入退場等について安全対策を高めていく必要がある。	
		実績	8回 (1)福島千里選手のランニング教室 (2)サンゴリアスのラグビー体験教室 (3)阿部詩選手の柔道指導体験会 (4)Panasonicパンサーズのバレーボール練習見学ほか	5回 (1)福島千里かけっこ教室 (2)サンゴリアスラグビー体験教室 (3)金丸雄三ランニングイベント (4)障がい者サッカーレガシーマッチ (5)日本卓球リーグホームマッチ					
成果指標①	誘致した大会等の観戦者数／年間	指標①	1,400人	1,200人	1,300人	1,400人	・様々な種目のトップアスリートによる競技が観戦できる大会等、参加者が間近で観たり、体験するなどのスポーツに親しむ機会を多くの区民に提供することができた。	今後の取組 ・引き続き、トップアスリートによるスポーツ大会等により、区民が間近でトップアスリートの競技を観戦したり体験する機会を確保していく。	
		実績	1,284人 (1)福島千里選手:70人 (2)サンゴリアス:71人 (3)阿部詩選手:134人 (4)Panasonicパンサーズ:497人 その他512人	1,729人 (1)福島千里かけっこ教室:79人 (2)サンゴリアスラグビー体験教室:61人 (3)金丸雄三ランニングイベント:60人 (4)障がい者サッカーレガシーマッチ:1,244人 (5)日本卓球リーグホームマッチ:285人					
成果指標②	－	指標②	－	－	－	－			
		実績	－	－	－	－			
成果指標③	－	指標③	－	－	－	－			
		実績	－	－	－	－			

No.(基本目標－施策－事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)への支援	担当課	生涯学習スポーツ振興課	
2-(3)-①		53	○	—					
事業・取組の内容	スポーカルは、「多目的」、「多世代」、「多様な技術や技能」に合わせて継続的にスポーツを楽しむことができる自主運営のスポーツクラブで、「地域コミュニティの活性化の核となることを目的としている。 区民が地域で身近にスポーツを楽しめる場として、区内にある4つのスポーカル(スポーカル六本木、スポーカル高松、スポーカル青山、スポーカル三田)の活動の場を確保するとともに、競技団体など多様な主体との連携や日常的な運営を支援することで、スポーカルの活性化を図る。 さらに、区内全域で区民が身近にスポーツを楽しめる場を確保するため、未設置の地域への設立に向けた支援に取り組む。							進捗状況	
								a	
			前期 令和5年度	令和6年度	後期3年間 令和7年度		令和8年度	実績の評価(令和6年度)	事業の課題や改善が必要な事項
取組目標	連携事業数	年次計画	9回	10回	11回		12回	・令和6年度は、スポーカル全体で目標や課題を共有する場としてスポーカル会議を立ち上げ、年度当初から意欲的な活動が展開できた。 ・各地域のスポーカル同士の連携・協力による交流事業を実施できたことで、目標を上回る事業数を達成しただけでなく、スポーカルの活動の活性化にもつながった。	・令和5年度に設立したスポーカル三田を除く3スポーカルについては、開催回数や参加者の満足度の高さは評価できるが、新規会員数の伸び悩みが課題。 ・令和6年度からは保護者向けメールでの周知を拡大し、子どもの会員数向上に取り組んだが、より多くの方に参加してもらうため、引き続き工夫が必要である。
		実績	10回 ・スポーカル六本木:2回 ・スポーカル高松:4回 ・スポーカル青山:1回 ・スポーカル三田:2回 ・スポーカル交流:1回	11回 ・スポーカル六本木:4回 ・スポーカル高松:4回 ・スポーカル青山:1回 ・スポーカル三田:2回					
成果指標①	連携事業参加者のうち、スポーカルの活動に参加したいと回答した人の割合	指標①	80%	90%	90%		90%	・連携事業を多く実施できたことで参加者の満足度も高く、「スポーカル活動に今後も参加したい」と回答した人の割合が指標を上回る結果となった。	今後の取組 ・高い競技力を有する団体など、多様な主体との連携事業に取り組むことで、普段の活動よりも質の高い体験ができる機会を設けると、スポーカルの活動がより魅力的な活動となり、参加者が増えるよう引き続き支援していく。 ・スポーツを通じた地域のつながりをが深まるよう、様々な競技種目で交流事業を継続していく。
		実績	70%	100%					
成果指標②	—	指標②	—	—	—		—		
		実績	—	—	—		—		
成果指標③	—	指標③	—	—	—		—		
		実績	—	—	—		—		

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(1)-①	42	—	—	地域スポーツ教室の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	様々なスポーツ体験の場を提供するため、スポーツ推進委員会を中心に、親子や高齢者、障害者など地域の人々が気軽に参加できる教室を実施する。	「テニス」や「ボッチャ」などの地域スポーツ教室を実施し、親子、高齢者、障害者などが気軽に参加できるスポーツ体験の機会を提供した。 ・開催回数:62回 ・参加者数:1,905人			—	多様な人が気軽にスポーツを体験できる機会を提供した。	新しい種目を取り入れ、より多くの方に参加してもらえる教室を実施していく。
1-(1)-②	42	—	—	みなと区民スポーツ・体育祭の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	誰もが気軽にスポーツを体験できる機会を提供する「みなと区民スポーツ・体育祭」を開催する。	みなと区民スポーツ・体育祭を開催した。 ・開催日:令和6年10月14日(月・祝) ・参加者数:10,365人			—	多様な人が気軽にスポーツを体験できる機会を提供した。	今後も誰もが気軽にスポーツに触れられる機会として、継続的に開催していく。
1-(1)-③	43	—	—	MINATOシティハーフマラソンの開催	生涯学習 スポーツ 振興課	子どもから高齢者まで、国籍、障害の有無にかかわらず、多くの区民が参画できるMINATOシティハーフマラソンを開催する。 【種目】 ・ハーフマラソン ・ファンラン(約800m)	ハーフマラソン、ファンランに加え、中高生を対象とした新種目・ユースランを試行実施した。 ・開催日:11月17日(日) ・ランナー出走者数:ハーフ5,155人(申込10,216人)、ユース60人、ファンラン547人 ユースラン60人、大会ボランティア:877人			—	・多くの人から申込があり、大会認知度が年々拡大している。 ・新種目であるユースランを試行実施し、待機場所や動線、他種目への影響等を把握することができた。 ・大会当日の気温が高く、緊急搬送が相次いだことを踏まえ、より安全・安心な大会とする必要がある。	2025大会では ①ユースランを正式種目として実施 ②ワールドアスレティックス(WA)認証を取得したことによる国際大会化を踏まえた取組 ③安全・安心な大会に向けた取組を進める。
1-(1)-④	43	—	—	スポーツを通じた国際交流の推進	生涯学習 スポーツ 振興課	国籍を問わず誰もが気軽に参加できるスポーツの機会を提供する。	外国人も参加できる区民スポーツ・体育祭等を実施、その情報を英字広報紙「Minato Monthly」に掲載し周知した。			—	外国人の参加もあり、幅広い人にスポーツ参加・体験の機会を提供できた。	引き続き、外国人にも参加しやすい事業を実施するとともに、効果的な情報提供の方法を工夫していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(2)-①	44	—	—	子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	生涯学習スポーツ振興課	(公財)日本ラグビーフットボール協会や(一社)日本障がい者サッカー連盟等、様々な競技団体との連携によりタグラグビー教室や障害者サッカー体験教室等を実施し、子どもがスポーツに触れる機会の充実を図る。	【日本ラグビーフットボール協会との連携事業】 ・ラグビー観戦機会5回、参加者数1280人 ・幼児タグラグビー教室(保育園・幼稚園)89回、参加者数1,771人 小学生タグラグビー教室40回、参加者数1,019人 キッズタグラグビーフェスティバル参加者数250人 障害者向けタグラグビー教室11回、参加人数75人			—	子どもたちがスポーツを「する」「みる」機会を数多く提供することができた。	引き続き、子どもたちが様々なスポーツを体験できるよう、多くの機会をつくっていく。
1-(2)-②	44	—	—	幼児の体力増進の取組	生涯学習スポーツ振興課	幼児を対象にスイミングやフットサルなどの教室を実施し、幼児期に身体を動かすことの楽しさを経験する機会を提供する。	幼児の水泳教室やキッズバレエ、キッズ体操、キッズフットサル、キッズテニス、かけっこ教室を実施した。 ・実施回数:269回 ・参加者数:延1,695人			—	幼児がスポーツをする機会、体力増進の機会を提供することかできた。	引き続き、利用者ニーズに踏まえた幼児向け教室を実施していく。
1-(2)-③	44	—	—	小・中学校、幼稚園での体力向上の取組	生涯学習スポーツ振興課/教育指導担当	・学校屋内プール開放事業における水泳教室の実施など、子どもたちに身近な学校等で気軽に運動できる機会の創出 ・区立中学校における全部活動に部活動指導員を配置し、専門的な指導を継続的に受けることができる環境の整備	夏休み短期水泳教室(3～5日間)、親子水泳教室などを新たに実施した。 ・親子での参加人数:1,344人			—	これまで小学生クラスのための親子水泳教室だったが、幼児・親子での水泳の機会を創出し、多くの参加者を得ることができた。	親子参加のクラスを増やすことで、幼児や小学校低学年の子どもでも気軽に運動できる機会をさらに増やしていく。
1-(2)-④	44	—	—	部活動指導員の活用	教育人事企画課	・区立中学校における全部活動に部活動指導員を配置し、体力、運動能力の向上、協調性やマナーなどの習得を図る。 ・全区立中学校に、他の中学校に在籍する生徒も入部できる「地域部活動」を設置し、生徒が希望するスポーツに取り組むことができる環境を整備する。	区立中学校の全部活動に部活動指導員を配置した。			—	部活動指導員を活用して専門的な技術指導と教員の労働環境の改善に取り組んだ。	研修の実施等により、引き続き、質の高い部活動指導員を継続して配置していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(2)-⑤	45	—	—	「放課GO→」・「放課GO→クラブ」での体力向上の取組	各総合支所管理課/子ども若者支援課/生涯学習スポーツ振興課	児童の放課後等の居場所である「放課GO→」「放課GO→クラブ」において子どもたちの体力向上を図る。	「放課GO→」「放課GO→クラブ」において、様々なスポーツプログラムを実施し、子どもたちの体力向上に寄与した。			—	様々なスポーツプログラムを通じて、子どもたちの体力向上を図ることができた。	引き続き、子どもたちが興味を持つ様々なスポーツプログラムを通じて、体力向上を図る。
1-(2)-⑥	45	—	—	児童館・子ども中高生プラザ等での体力向上の取組	各総合支所管理課/子ども若者支援課	児童館・子ども中高生プラザ等の施設や事業において、スポーツや遊びを通じて体力向上を図る。	児童館や子ども中高生プラザにおいて、学習、遊び、スポーツなど様々な場と機会を提供した。			—	様々なスポーツや遊びを通じて、体力向上を図ることができた。	引き続き学習、遊び、スポーツなど子どもたちが興味を持つ様々な場・機会を提供し、体力向上を図る。
1-(2)-⑦	45	—	—	小学校における連合運動会等の開催	教育指導担当	区立小学校6年生を対象に「連合運動会」を実施し、児童の体力向上を図る。	連合運動会を実施し、児童の体力向上を図るとともに、学校間の交流を通じて協調性や連帯感を育成した。 ・開催日:令和6年10月3日(木) ・場所:国立競技場			—	競技運営や競技場の使用を円滑に行うことができた。	引き続き児童の体力向上と学校間の交流を図ることができるよう運営する。 【予定】令和7年10月8日(水)、駒沢陸上競技場
1-(2)-⑧	45	—	—	中学校における体育大会等の開催	教育指導担当	区立中学校2年生を対象に「連合体育大会」を実施し、協調性や連帯感などを育成する。	連合運動会を実施し生徒の協調性・連帯感の育成を図るとともに、大会本番に向けた練習を通じて体力・運動能力の向上を図った。 ・開催日:令和6年10月2日(水) ・場所:国立競技場			—	競技運営や競技場の使用を円滑に行うことができた。	引き続き生徒の体力・運動能力の向上と協調性等の育成を図れるよう運営する。 【予定】令和7年9月30日(水)、駒沢陸上競技場
1-(2)-⑨	45	—	—	特別支援学級合同運動会の開催	教育指導担当	区立小・中学校特別支援学級の児童・生徒の「特別支援学級合同運動会」を実施し、交流と体力向上を図る。	合同運動会を実施し、学校間の交流と児童・生徒の体力向上を図った。 ・開催日:令和6年10月9日(水) ・場所:港区立スポーツセンター			—	保護者参加種目の見直しやプログラムの精査など、児童・生徒の実態に合った合同運動会の実施が必要	引き続き児童・生徒の体力の向上と交流が図れるよう運営する。 【予定】令和7年10月10日(金)、港区立スポーツセンター

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(2)-⑩	45	—	○	MINATORIZMダンスフェスタの開催	教育長室	区内の小・中学校に通う児童・生徒を対象としたMINATORIZMダンスフェスタを開催する。	区内の公私立小・中学生を対象にダンス作品(動画)を募集し、フェスタを開催した。 ・応募総数38チーム ・開催時期:12月 ※一次審査を通過した22チームがダンスを披露 ・来場者:800人			—	・子どもたちにとって大勢の前で日頃の成果を披露する機会、プロダンサーによる審査や講評、パフォーマンス披露により、本格的なダンスに触れる機会となった。 ・応募チームの増加を図る取組が必要。	・大会の様子をまとめたダイジェスト動画や専用サイト、チラシ等を用いて、早期に事業の周知を実施していく。
1-(3)-①	46	—	—	スポーツセンター等での夜間の教室開催	生涯学習スポーツ振興課	働き盛り世代が仕事帰りに気軽にスポーツに取り組めるよう、夜間の教室プログラムを実施する。	ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施した。			—	働き盛り世代が参加しやすい方式で実施することができた。	働き盛り世代等の夜間参加者のニーズに応じたスタジオプログラムや自主事業を引き続き実施していく。
1-(3)-②	46	—	—	子育て世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	子育て中の人々が安心してスポーツに取り組めるよう、親子で楽しむことができる運動教室などの充実に取り組む。	親子で楽しむ運動教室 ・41回開催(398組) ・延参加者976人 ベビースイミング ・60回開催(360組) ・延参加者720人 親子で楽しめる教室 ・実施回数:23回 ・参加者数:802人			—	・親子で参加できる教室を数多く開催することができた。	・引き続き、子育て中の人々も気軽に参加できる親子運動教室など、様々な種目での開催を検討していく。
1-(3)-③	46	—	—	働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	・区内企業に対し区が主催するスポーツ体験会への参加を働きかけ、働き盛り世代のスポーツ活動の活性化を図る。	働き盛り世代も参加しやすいよう、オンラインによる教室やストレッチ、足形計測イベントなどを実施した。			—	働き盛り世代が参加しやすい方式で実施することができた。	引き続きオンラインによるプログラムの実施など、働き盛り世代など多くの人が参加しやすい実施方法を検討する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(3)-④	46	—	—	働き盛り世代への運動プログラムの周知	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課	働き盛り世代がスポーツに取り組むきっかけとするため、東京都が作成するハンドブックなどを活用した周知に取り組む。	健康講座を実施したほか、東京都と東京商工会議所が連携して作成する「オフィスdeエクササイズ～働き盛り世代の運動習慣定着化ガイドブック」をHP等で周知した。			—	・周知効果を高めるため、以前区で配布していたハンドブックの内容見直しや改版について検討が必要。	・今後も健康講座を継続して実施し、区民の健康増進を図っていく。
1-(4)-①	47	—	—	高齢者向けスポーツ教室の実施	生涯学習スポーツ振興課	区内企業や大学、総合支所等と連携し、eスポーツ体験の機会を創出する。	嘉悦大学と連携協力した高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施した。 ・開催時期:7月、12月 ・場所:RED° TOKYO TOWER ・参加者:82名			—	・高齢者と学生の世代間交流を図りながら、多くの参加者にeスポーツの魅力を体験してもらうことができた。	・引き続き、嘉悦大学と連携協力し、高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施する。
1-(4)-②	47	—	—	さわやか体育祭の開催	各総合支所管理課/高齢者支援課	いきいきプラザなどの利用者が体力に応じたスポーツやゲーム、体操などを行い、親睦を深める「さわやか体育祭」を開催する。	概ね60歳以上の区民が参加する体育祭を開催し、地区を超えた交流を図るとともに、健康増進のきっかけとなる場を提供した。 ・開催時期:11月 ・場所:スポーツセンター ・参加者:300人(男性参加率9%)			—	例年7月に開催していたが、熱中症対策のため11月に開催した。	男性参加者がここ数年10%前後となっていることから、各いきいきプラザの団整理利用者に体育祭への参加を促し、男性参加者の増員を目指す。
1-(4)-③	47	—	—	いきいきプラザ各種教室及び講座の開催	各総合支所管理課/高齢者支援課	60歳以上の区民を対象に、区内のいきいきプラザで卓球やウォーキングなど、多彩な教室や講座を開催する。	・卓球やウォーキングのほか、施設内設置のマシントレーニングなど事業の充実を図った。 ・男性など新たな層への利用促進を図った。			—	いきいきプラザ全体の利用者数がコロナ前の水準に戻っていないため、魅力ある事業の創出が課題	・各種教室の実施にあたり、利用者等の意見を反映させ利用者の増加を図る。 ・新たな層へのアプローチを推進し、参加しやすい環境づくりを進める。
1-(4)-④	47	—	—	港区老人クラブ連合会の支援	保健福祉課/生涯学習スポーツ振興課	港区老人クラブ連合会のスポーツ活動を支援する。	地域スポーツ教室で老人クラブ連合会を対象としたヨガ教室等を実施した。 ・実施回数:21回 ・参加者数:665名				気軽に参加できる種目で、高齢者が気軽に楽しみながら体を動かす機会を提供できた。	引き続き高齢者が気軽に楽しく体を動かす機会を提供していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(5)-①	48	—	—	「みる」スポー ツの機会創出	生涯学習 スポーツ 振興課	ラグビーの試合の区民招待など、 関係団体との連携による区民のス ポーツを「みる」機会を創出す る。	・「セイコーゴールド ングランプリ陸上2024 東京」大会観戦チケット を区内在住・在勤・在学 者対象に無料招待 ・「リレーフェスティバル 2024」大会観戦チケッ トを区内在住・在学者対 象に無料招待 ・東京ユナイテッドバス ケットボールクラブの試 合を区立小・中学生を 対象に無料招待 ・国立競技場や秩父宮 ラグビー場にて、ラグ ビーの試合を区内在 住・在学者対象無料招 待 観戦機会:計5回 参加者数:1280人			—	・世界陸上に向けた 気運醸成となる陸 上競技の観戦体験 を提供できた。 ・バスケットボール の試合は複数の招 待日を提供するこ とができた。	・引き続き、区民の「みる」機 会を創出できるよう関係団体 と連携を強化していく。
1-(5)-③	48	—	—	スポーツ大会等 の情報発信	生涯学習 スポーツ 振興課	区内で開催されるトップアスリー トによる大会等の情報を発信し、 区民の「みる」スポーツ活動を促 進する。	区内でのスポーツ大会 やスポーツイベントの情 報をスポーツセンター 等で掲示したほか、各 種大会の案内チラシを 設置した。			—	パネルのほか、デジ タルサイネージを活 用し、効果的に情報 を発信することが できた。	パネル展示、デジタルサイ ネージやポスターの掲示等 により引き続き大会の情報を 発信していく。
1-(6)-①	49	—	—	区民大会等の開 催	生涯学習 スポーツ 振興課	「区民大会」、「都民体育大会港 区予選会」、「都民生涯スポーツ 大会港区予選会」等を開催し、区 民の競技スポーツへの参加を促進 する。	各大会を港区スポーツ センター等で実施した。			—	年間を通して多く の大会を開催する ことができた。	引き続き、スポーツセンター や運動場で大会を開催でき るよう協力していく。
1-(6)-②	49	—	—	定期練習会の開 催	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツセンター等で弓道、剣 道、柔道、合気道、なぎなた等 の定期的な練習の機会を提供し、実 技指導を行うことで技術の向上を 支援する。	年間を通して、各競技 の定期練習、実技指導 を行った。 ・参加者数:15,084人			—	定期的な練習会を 実施することで、区 民の技術の向上を 支援することがで きた。	引き続き、定期的に練習会 の機会を提供し、区民のス ポーツの技術力の向上を図 っていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
1-(6)-③	49	—	—	指導員付個人公開の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツセンターで、バドミントンやバスケットボール、卓球等の定期的な練習の機会を提供し、実技指導を行うことで技術の向上を支援する。	年間を通して、各競技の定期練習、実技指導を行った。			—	定期的な練習会を実施することで、区民の技術の向上を支援することができた。	引き続き、定期的に練習会の機会を提供し、区民のスポーツの技術力の向上を図っていく。
1-(6)-④	49	—	—	トップアスリート及び企業の実業団チームとの交流	生涯学習 スポーツ 振興課	区内企業等との連携によりスポーツ教室や交流事業を実施し、トップアスリートや実業団チームから直接指導を受ける機会を創出する。	・港区×明治安田生命親子サッカー教室 参加人数:62組 ・サンゴリアスラグビー体験教室 参加人数:59人 ・サンリツ卓球選手との交流 ・Panasonicパンサーズ練習見学 参加人数:30人 ・港区×明治安田生命サッカー教室 参加人数:83人			—	トップアスリートやトップチームとの交流により、区民のスポーツ活動の充実を図ることができた。	引き続き、様々な競技のトップアスリートやチームとの交流、連携を深め、事業機会を創出していく。
1-(7)-①	50	—	—	積極的なスポーツ情報の提供	生涯学習 スポーツ 振興課	区ホームページやSNS等を活用し、区立スポーツ施設の混雑情報等を発信する。	・当日含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページで公開した。 ・人気のあるプールとトレーニングパークはリアルタイムでの混雑状況を発信した。			—	混雑状況を1時間ごとに更新するとともに、待ち状況の目安もホームページで掲載した。	引き続き、ホームページをはじめSNSを活用し、混雑情報等を発信していく。
1-(7)-②	50	—	—	スポーツ施設等の利用に関する情報の提供	生涯学習 スポーツ 振興課	・スポーツ施設の利用案内や予約方法等について、ホームページやSNS等で広く発信する。 ・学校施設開放の利便性向上を図るため、予約手続きなどのオンライン化等を行う。	・施設に関する情報をホームページ、x等により広く周知した。 ・学校施設開放の施設予約システム導入後の利用者アンケート調査を実施した。			—	学校施設開放事業の利便性向上により、登録団体が2倍近くに増加した。	利用時間の変更などを適宜スポーツガイドマップ等に反映させるとともに、引き続き学校施設開放事業の利便性向上を図っていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
2-(1)-①	51	—	—	スポーツボラン ティア活動の普 及と定着	生涯学習 スポーツ 振興課	・スポーツを「ささえる」活動と して、スポーツボランティアの更 なる普及と体制の整備を図る。 ・「パラスポーツメイト養成講 座」を実施している港区社会福祉 協議会と連携した取組を進める。	・区主催事業や民間企 業や競技団体との連携 により、スポーツボラン ティアの活動の場を確 保した。 ・サポートが必要な方へ の対応を学ぶ講座にお いて、社会福祉協議会 を通じて手話講師を手 配した。			—	関係団体と連携し たボランティアの場 の確保により、ス ポーツボランティア 活動の更なる普及 に取り組むことが できた。	引き続き、関係団体と連携 し、スポーツボランティアが活 躍できる機会の充実を図って いく。
2-(1)-②	51	—	—	ポート・スポー ツ・サポーター ズクラブ事業の 実施	生涯学習 スポーツ 振興課	・各競技やボランティアに関する 知識を学ぶ講座を実施し、ボラン ティアリーダーとなれる人材の育 成に取り組む。 ・スポーツボランティアが活躍で きる機会の充実を図る。	講座(年7回)及び実践 活動を実施した。 ・講座参加者数:延79 名 ・実践活動参加者数:延 73名			—	スポーツボランティ アへの参加拡大・人 材の育成に取り組 むことができた。	引き続き、講座実施によりボ ランティアリーダーとなれる 人材の育成に取り組むととも に、登録者の増加のため、HP やSNSの周知を充実してい く。 ・ボランティアの登録年齢に ついて、他自治体の事例も参 照し、拡大を検討する。
2-(2)-②	52	—	—	武道における外 部指導員の活用	教育指導 担当	区立中学校における武道の授業に 地域人材などを外部指導員として 配置し、技術面の向上と安全面に 配慮した指導を行う。	区立中学校10校にお いて外部講師を配置 し、安全面に配慮しなが ら専門性の高い指導を 行った。			—	・専門性の高い外部 講師を各学校に配 置することで、より 効果的な指導を行 うことができた。 ・講師には各学校の 実態に即した指導 を行うよう依頼す る必要がある。	引き続き、区立中学校におけ る武道の授業に地域人材等 を外部指導員として配置し、 専門家の指導による技術面の 向上を図るとともに、安全面 に配慮した指導を行う。
2-(3)-②	54	—	—	スポーツ推進委 員協議会の活動 支援	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツ推進委員の資質向上に向 け、障害者スポーツや誰もが気軽 に取り組めるニュースポーツを推 進するための研修を実施するほ か、協議会の活動を支援する。	・広域地区別研修に向 けてのプレ研修 ・関東スポーツ推進委員 研究大会 ・広域地区別研修(第一 ブロック)※港区幹事区 ・全国スポーツ推進委員 研究協議会 ・救命救急資格取得研 修 ・管外研修			—	障害者スポーツを はじめ各種研修を 実施した。関東・全 国スポーツ推進委 員研究大会への参 加を支援したこと で、資質向上につな げることができた。	引き続き、スポーツ推進委員 の資質向上に向け、障害者ス ポーツやニュースポーツの研 修を実施するなど活動を支援 する。
2-(3)-③	54	—	—	(一財)港区体 育協会への支援	生涯学習 スポーツ 振興課	(一財)港区体育協会加盟団体が 実施する指導者育成に向けた講習 会等への助成を行う。	(一財)港区体育協会加 盟団体が実施する指導 者育成に向けた講習会 に係る講師謝礼費用等 について支援した。 ・助成競技団体数:33 団体			—	講習会を通じて技 術の向上等を支援 することができた。	引き続き、競技力の強化や指 導者の育成などを図る講習会 等を支援する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
2-(3)-④	54	—	—	社会体育団体への支援	生涯学習 スポーツ 振興課	社会体育団体が指導者育成や資格 取得等のために実施する講習会や 研修会に係る費用を助成する。	社会体育団体が実施する指導者育成のための 研修会等に係る講師謝 礼について支援した。 ・助成団体数:16団体				団体への周知に際し事業目的や条件 を分かりやすくなる よう記載を見直し、 支援制度の利便性 向上を図ることが できた。	引き続き、団体に対し丁寧な 事業周知を行い、社会体育団 体の活動を支援する。
2-(4)-①	55	—	—	(公財)港区ス ポーツふれあい 文化健康財団との連携	生涯学習 スポーツ 振興課	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携し、区内の観光 資源を活用したスポーツの催し物 を開催するなど、区民のスポーツ 活動の普及に取り組む。	お台場駅伝大会やトラ イアスロン教室、ウィン ドサーフィン体験教室、 SUPヨガ体験教室など の地域特性を生かした 事業を実施した。 ・実施回数:7回 ・参加者数:239人			—	(公財)港区スポー ツふれあい文化健 康財団と連携し、多 様な事業を実施す ることができた。	区民のスポーツに対する興味 や関心を高めていくために、 引き続き魅力的な事業を展 開していく。
2-(4)-②	55	—	—	(一財)港区体 育協会との連携	生涯学習 スポーツ 振興課	(一財)港区体育協会と連携し、 次代を担う青少年の健全育成、子 どもから高齢者の健康増進となる 様々なスポーツの振興に取り組 む。	(一財)港区体育協会、 (公財)港区スポーツふ れあい文化健康財団、 指定管理者とで定期的 に情報共有を行い、連 携を図った。			—	各競技団体の強 化、競技力の向上 に向けて事業を実 施することができ た。	事業の内容をより充実させる ため、連携を深めていく。
2-(4)-③	55	—	—	競技団体との連 携	生涯学習 スポーツ 振興課	地域社会におけるスポーツの発展 を目的として、区と競技団体が互 いに有する資源を活用し、スポー ツ振興を図る。	・連携協定に基づき、ラ グビーの試合観戦やタ グラグビー体験教室を 実施した。 ・日本障がい者サッカー 連盟と連携して障がい 者サッカーイベント等 を実施した。			—	トップアスリートや トップチームとの交 流により、区民のス ポーツ活動の充実 に取り組めた。	引き続き、トップアスリートや トップチームとの交流の機会 を設けることで、区民のス ポーツ活動の充実に取り組 む。
2-(4)-④	55	—	○	団体支援を通じ たスポーツ振興 の充実	生涯学習 スポーツ 振興課	港区版ふるさと納税制度における 寄付金の一部を活用し、区内のス ポーツ活動団体を支援する。	(一財)港区体育協会加 盟団体が実施する指導 者育成に向けた講習会 に係る講師謝礼などを 支援した。 ・助成競技団体数:33 団体			—	講習会を通じて技 術の向上等を支援 することができた。	競技力の強化や指導者の育 成など、目的に沿って開催さ れる講習会等へ助成を継続す る。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
3-(1)-①	56	—	—	区立スポーツ施設等の充実	生涯学習 スポーツ 振興課	区立スポーツ施設等について、バリアフリーや利用者ニーズを踏まえた機能拡充などに取り組み、区民が気軽かつ安全にスポーツを楽しめる環境を整備する。	・スポーツセンターの入退場管理システムの入替えや券売機のキャッシュレス化を実施した。 ・熱中症対策として野球場のダグアウトに扇風機を設置した。			—	令和6年度から7年度にかけて実施した運動・スポーツの需要調査の結果を踏まえ、今後の対応の検討が必要。	施設の安全点検や、運動・スポーツ需要調査結果等を踏まえ、緊急度、優先度を考慮しながら施設の充実に努めていく。
3-(1)-②	56	—	○	新たなスポーツ施設の整備	生涯学習 スポーツ 振興課	多種目のスポーツ競技での利用が可能な施設を北青山三丁目に整備する。	・(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設の整備を進めた(実施設計中)。 ・元麻布三丁目複合施設の中に弓道場及び多目的室(運動スペース)を整備することを決定した。			—	(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設については整備スケジュールどおり整備を進めた。	元麻布三丁目複合施設整備に向けて、複合施設全体の整備計画を策定する。
3-(1)-③	56	—	○	スポーツ施設の計画的な維持保全	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツ施設を計画的に維持保全するため、中長期的な視点での維持管理及び改修計画の策定に取り組む。	運動場工作物の健全度調査を実施した。			—	健全度調査に加え、予防保全型管理を取り入れた場合の将来経費の算出を進めることができた。	令和8年度に実施する公共施設マネジメント計画の改定作業に向けて、運動場工作物等の維持管理計画の盛り込み方を関係部署と協議し、検討していく。
3-(1)-④	57	—	—	公園や児童遊園、歩道の整備	土木課	・地域特性に合わせた公園の整備、地域の子どもたちが安全に遊べる児童遊園を整備する。 ・無電柱化の推進等により、楽しく安全に歩ける環境を整備する。	・地域の声を反映した基本設計に基づき、令和6年度に「六本木三丁目児童遊園」を整備した(令和7年4月供用開始予定)。 ・明舟公園を新規整備し、令和6年8月供用開始した。 ・新浜公園を再整備し、令和7年3月供用開始した。			—	公園や児童遊園整備の際は懇談会を開催し、地域の声を踏まえた安心して集える魅力ある公園や児童遊園の整備を進めた。	地域の子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、地域のコミュニティ形成の拠点のひとつとして、安心して集える魅力ある公園や児童遊園を整備する。
3-(1)-⑤	57	—	—	校庭の整備等、学校における運動環境の充実	学務課 /学校施設 担当	・小学校の校庭改修の際に人工芝を導入するなど、安全性や機能性、維持管理面を考慮して整備を進める。 ・学校の運動器具や用具を充実する。	・赤坂小学校校庭に人工芝を導入した。 ・高松中学校にボルダリング設備を設置した。			—	区立幼稚園、小学校でのボルダリング利用を中学校にも繋げて行くために、より本格的に楽しめる規模のボルダリング設備を設置した。	引き続き、学校と協議を行い、人工芝や運動器具・用具の整備を希望する学校への導入を行っていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
3-(1)-⑥	57	—	—	プレーパークの 推進	各総合支 所まちづ くり課 /土木課	子どもがのびのびと思い切り遊べ る冒険遊び場（プレーパーク）づ くりに取り組む。	【麻布】 有栖川宮記念公園4回 【高輪】 高輪森の公園171回 亀塚公園40回 【芝浦港南】 港南三丁目遊び場 28回			—	プレーパークは前 年度から開催回数 が15回増加した。 ・プレーパークを運 営している区民団 体の自主運営に向 けた取り組みを推 進した。	引き続き、区民団体の自主運 営に向けた支援をする。 【麻布】 令和7年度予定4回 【芝浦港南】 令和7年度予定 港南三丁目遊び場 28回 【高輪】 令和7年度予定 高輪森の公園 177回 亀塚公園 40回
3-(2)-①	57	—	—	校庭・体育館等 の開放	生涯学習 スポーツ 振興課	地域の人のスポーツ活動の場とし て、区立小・中学校の校庭及び体 育館を開放する。	令和6年度利用実績： 21,463件 413,400人			—	・地域のスポーツ 活動団体へスポー ツ活動の場を提供 することできた。 ・令和6年2月、 全学校に施設予約 システム端末を導入した。	施設予約システムを本格導入 し、利用者の利便性向上と学 校側の負担軽減を図りなが ら、施設開放の取組を実施す る。
3-(2)-②	58	—	—	学校屋内プールの 開放	生涯学習 スポーツ 振興課	・誰もが身近なところでスポーツ に親しめるよう、区立小・中学校 の屋内プールを開放する。 ・学校屋内プールの利用を一層促 進するため、水泳教室の充実や利 用方法の改善に取り組む。	【一般開放】 開放校：7校 利用者数：54,672人 【水泳教室】 実施回数合計：554回 参加者数合計：3068 人			—	【一般開放】 1年を通して安全に プールを開放する ことができた。 【水泳教室】 ホームページ等で 周知を行い、効果 的に実施できた。	【一般開放】 より多くの人が学校屋内プー ルを利用できるよう、開放校 を増やす。 【水泳教室】 今後も通年を通して、多くの 参加者の申し込みがあるよう 周知の幅を増やし、実施す る。
3-(2)-③	58	—	—	遊び場開放事業 の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	地域の児童・幼児の安全な遊び場 として区立小学校の校庭及び体育 館を開放する。	実施校：18校 参加者数：1,682人			—	10月以降、X等で周 知を強化し、9月以 前と比べて利用者 数を増加させるこ とができた。	様々な方法での周知に加え、 イベントも多く開催すること で、利用者増を図る。
3-(2)-④	58	—	—	園庭等の開放	学務課	未就園児に対して、区立幼稚園の 園庭や園舎などを開放し、遊び場 を提供する。	実施園：12園 参加者数：延べ2,681 人			—	未就園児の会の過 去3年間の平均参 加者数を超え、多 くの方に利用して いただけた。	引き続き、未就園児に対して 園庭等を開放することで、区 立幼稚園の魅力を感じ、親し みを持ってもらう交流の機会 を設けていく。
3-(3)-①	58	—	—	企業・大学等の スポーツ施設等 の活用	生涯学習 スポーツ 振興課	区内の企業や大学等と連携し、区 と大学等の所有する知識や施設等 を最大限活用したスポーツ活動の 場の拡充に努める。	・JX金属株式会社の剣 道場を港区剣道連盟の 活動場所として活用し た(令和6年度は6回) ・区内上場企業348事 業所に、区内外に保有 するスポーツ施設等 に関するアンケート調査 を実施した。			—	民間企業が保有す る施設を活用でき た。	区内企業へのアンケート調査 の結果等を踏まえ、スポーツ 活動の場の拡充を図る。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
3-(3)-②	58	—	—	区外における運動施設の活用	生涯学習スポーツ振興課	区外にある運動施設を活用できるよう検討する。	・区内上場企業348事業所に、区内外に保有するスポーツ施設等に関するアンケート調査を実施した。			—	・アンケート調査に着手することができた。	・区内上場企業348事業所に、保有するスポーツ施設等に関するアンケート調査結果等を活用しながら、スポーツ活動の場の拡充に努める。
4-(1)-①	59	—	—	障害者のスポーツ教室の開催	障害者福祉課	障害のある人を対象に、身体を動かし健康の増進を図る「リフレッシュ体操」等の講座を実施する。	障害のある人を対象とした講座を実施した。 ・24講座 ・延158名参加			—	感染症防止など対象者の特性を踏まえた対策を講じながら実施した。	幅広い内容の講座を実施することにより、障害者の交流の機会の確保と、障害者自身の自己啓発に役立つよう支援していく。
4-(1)-②	59	—	—	いちよう学級の実施	障害者福祉課	知的障害者がレクリエーション・自然体験などを行う「いちよう学級」を実施する。	・年間活動回数:13回 ・受講者数:延514人			—	・支援者の当日キャンセルにも備えたシステム作りが課題。 ・受講者の年齢層が幅広く人数も増えているため、それぞれに対応した取組の実施やより多くの支援者の確保が必要。	受講者の高齢化や人数が増加する状況で、安全に活動を実施できるよう、年齢によって若年・高齢グループを選択できるようにする年齢区分を設けるなど、実施内容を工夫して事業を進める。
4-(1)-③	59	—	—	パラスポーツ指導員の配置	生涯学習スポーツ振興課	障害者が気軽にスポーツに親しめるよう、(公財)日本パラスポーツ協会が認定する「パラスポーツ指導員」を区立スポーツ施設に順次配置する。	パラスポーツ指導員を港区スポーツセンターと区立運動場に併せて9名配置した。			—	各運動施設に指導員を通年で配置することができた。	さらに指導員を増やすことで各施設に常時指導員がいる状況をつくっていく。
4-(1)-④	59	—	—	スポーツ活動の場の確保	生涯学習スポーツ振興課	障害者が気軽に日常的にスポーツを楽しむ機会を提供する「だれでもスポーツ開放事業」を実施する。	日本障がい者サッカー連盟との連携によりサッカーボールを用いたレクリエーションやブラインドサッカー体験ができる「だれでもスポーツ開放事業」を毎月第2・4水曜に実施した。			—	事業内イベントの「障がい者サッカーチャレンジひろば」では、専門のコーチによって、参加者も保護者もみんなで楽しむイベントとなり、保護者からも大変好評であった。	引き続き、「だれでもスポーツ開放事業」や「障がい者サッカーチャレンジひろば」を実施し、参加者の増加を図る。
4-(2)-①	60	—	—	障害者スポーツ用具の充実	生涯学習スポーツ振興課	障害者が気軽にスポーツに親しめるよう、様々な障害に対応したスポーツ用具の充実を図る。	・スポーツセンターアリーナ及びサブアリーナの床面に強化コーティングを施し、車椅子で利用しやすい環境を整えた。			—	・車椅子競技に対応できる環境を整えた。	・各スポーツ施設においては、公共施設マネジメント計画に基づく改修工事等の機会を捉え、バリアフリー環境を整える。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
4-(2)-②	60	—	—	障害者のスポーツ環境の整備	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者が安心して利用できるよう、スポーツ施設のバリアフリー化に取り組む。	スポーツセンターアリーナ、サブアリーナの床面に強化コーティングを施し、車椅子で利用しやすい環境を整えた。			—	車椅子競技に対応できる環境を整えた。	各スポーツ施設においては、公共施設マネジメント計画に基づく改修工事等の機会を捉え、バリアフリー環境を整えていく。
4-(3)-①	61	—	—	障害者スポーツの交流・体験会の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	障害のある人となない人が一緒にスポーツを楽しみ、交流する場を提供する。	障がい者スポーツの集い ※ボッチャやサウンドテーブルテニスなどを実施 ・開催日：令和6年11月10日(日) ・参加者数：85人			—	障害者福祉課やスポーツ推進委員と連携し、障害のある人もない人も、ともにスポーツに親しめるイベントを実施できた。	参加者の増加を図るため、周知を強化していく。
4-(3)-②	61	—	○	教育プログラムの実施	生涯学習 スポーツ 振興課	障害理解や多様性への気づきを学ぶプログラムのほか、デフスポーツ体験や手話での交流機会の創出に取り組む。	「JIFFインクルーシブ教育プログラム」を5校16教室で実施した。			—	「JIFFインクルーシブ教育プログラム」を通じて、障害理解や多様性を学ぶプログラムを小中学校に提供できた。	引き続き、区内小中学校に向けた「JIFFインクルーシブ教育プログラム」を日本障がい者サッカー連盟と連携して実施する。
4-(3)-④	61	—	—	障害者スポーツ大会等の誘致	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツの観戦、選手との交流や体験の機会を提供し、障害者スポーツに触れる機会を創出する。	電動車椅子サッカー、ブラインドサッカーの親善試合を実施し、観戦機会や小中学生との交流の機会を創出した。			—	日本障がい者サッカー連盟と連携することで、複数種類の障がい者サッカーを観戦する機会を提供できた。	引き続き、障害者スポーツの観戦機会や選手との交流、障害者スポーツを体験する機会を提供していく。
4-(4)-①	63	—	—	障害者スポーツの理解の推進	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツを題材とした研修や区内での障害者スポーツの体験イベント等を実施し、障害者スポーツへの理解促進を図る。	日本障がい者サッカー連盟と連携した「だれでもスポーツ開放事業」において、ブラインドサッカー体験等の体験機会を毎月2回実施した。			—	日本障がい者サッカー連盟と連携することで、定期的に障害者スポーツ活動場所確保とあわせ体験機会を提供できた。	「だれでもスポーツ開放事業」の参加者が増えるよう積極的に周知していく。
4-(4)-②	63	—	—	障害者スポーツの普及・啓発	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツ体験会の実施や障害者スポーツ団体の定期的な活動場所の確保、SNS等での情報発信により障害者スポーツの普及拡大を図る。	日本障がい者サッカー連盟と連携し、ブラインドサッカーチームの練習場所を提供するとともに、障害者サッカーの体験を行った。			—	定期的な活動場所の確保と障害者スポーツの普及に向けて競技団体と協議を進めることができた。	多くの区民に障害者スポーツを普及できるよう、競技団体との連携を深め、体制をつくっていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
4-(4)-③	63	—	○	障害者サッカーを通じた共生社会の実現	生涯学習スポーツ振興課	障害者サッカーの体験機会の提供や障害者サッカー選手との交流事業等を実施などにより、障害者スポーツの振興と理解促進、共生社会の実現に取り組む。	・障がい者サッカーを通じて障害理解や多様性を学ぶ「JIFFインクルーシブ教育プログラム」を小中学校5校16教室で実施した。 ・だれでもスポーツ開放事業内のイベントとして、知的障害のある子どもを対象に、障がい者サッカー連盟専門のコーチや保護者と一緒にサッカーを楽しむ「障がい者サッカーチャレンジひろば」を実施した。			—	JIFFインクルーシブ教育プログラムやだれでもスポーツ開放事業など様々な形で連携した取組ができた。	「JIFFインクルーシブ教育プログラム」及び「障がい者サッカーチャレンジ」を継続して実施する。
5-(1)-①	65	—	—	観光資源を活用したスポーツ活動の実施	生涯学習スポーツ振興課	区内の名所を見物するまち歩きなど、観光資源を活用した催し物などによるスポーツ振興に取り組む。	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う「港区観光ロゲイニング」を実施 ・開催回数:1回 ・参加者数:67人			—	区内の観光名所を巡ることで港区の魅力を知ってもらいながら、身体を動かすこともできるという効果的な事業を展開することができた。	・区内にある多くの観光資源を、地域ごとに偏りなく活用できるよう進めていく。
5-(1)-②	65	—	—	立地特性を生かした催し物の実施	生涯学習スポーツ振興課	お台場駅伝大会やウインドサーフィン、ビーチヨガ、トライアスロン教室、お台場プラージュ等を開催する。	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン体験教室、SUPヨガ体験教室などの地域特性を生かした事業を実施した。 ・実施回数:7回 ・参加者数:239人			—	お台場の海を活用した事業を行うことができた。	引き続き、地域特性を効果的に生かした事業を検討していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
5-(2)-②	66	—	—	企業との連携協定	生涯学習 スポーツ 振興課	区内企業との連携により、トップレベルのアスリートやプロスポーツチームなどの資源を生かしたスポーツ振興事業を創出する。	・港区×明治安田生命 親子サッカー教室 参加人数:62組 ・サンゴリアスラグビー 体験教室 参加人数:59人 ・サンリツ卓球選手との 交流 ・Panasonicパンサーズ 練習見学 参加人数:30人 ・港区×明治安田生命 サッカー教室 参加人数:83人			—	トップアスリート やトップチームとの 交流により、区民のスポーツ活動 の充実を図ることが できた。	引き続き、様々な競技のトップアスリートやチームとの交流、連携を深め、事業機会を創出していく。
5-(2)-③	66	—	—	ラグビーを生かしたスポーツ振興	生涯学習 スポーツ 振興課	ラグビーの観戦機会の提供やタグラグビー教室等を実施し、スポーツ活動への機運継続に取り組む。	幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのタグラグビー教室や初心者タグラグビー教室、教職員指導者向けタグラグビー教室、障がい者タグラグビー教室を実施した ・実施回数:185回 ・参加者数:5,274人			—	タグラグビー教室 等でスポーツ活動の 機運継続を図ることが できた。	引き続き、タグラグビー教室の開催などで継続したスポーツ活動の機会を提供していく。
5-(2)-④	67	—	—	総合支所の地域事業を通じたスポーツの推進	生涯学習 スポーツ 振興課	総合支所と連携し、様々なスポーツ活動の機会の提供に取り組む。	芝浦港南支所と連携し、みなとパーク芝浦フェスティバルにおいて障がい者サッカーレガシーマッチ2025を実施した。			—	芝浦港南地区総合支所との連携を強化することができた。	引き続き、各地区総合支所との情報交換を密に行い、連携した取組を進めていく。
5-(3)-③	68	—	—	東京2020 大会のレガシーの継承	生涯学習 スポーツ 振興課	区民のスポーツ活動の活性化と定着をめざすため、区内で行われる子ども等を対象とするスポーツの大会や体験会の運営を支援する。	・区内で行われるスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を支援した。 ・区内で行われるスポーツ大会等のイベントにスポーツボランティア(PS SC)を派遣し、運営を支援した。			—	・現行の補助事業が令和6年度で終了により、新たなスポーツ活動の支援策が必要。	・引き続き、区内でスポーツイベントが活発に行われるよう新たな支援策を実施する。 ・引き続き、区内で行われるスポーツ大会等のイベントにスポーツボランティア(PSSC)を派遣し、運営を支援する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
5-(4)-①	69	—	—	先端技術を活用した新たなスポーツの楽しみ方の創出	生涯学習スポーツ振興課	区内企業や大学等と連携し、VRやARなどの技術も活用したeスポーツ体験の取組を推進する。	VRやARの技術を体験できるRED° TOKYO TOWERで、嘉悦大学と連携協力した高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施した。 ・開催時期:7月、12月 ・参加者数:82名			—	嘉悦大学との連携協力による体験イベントで、高齢者と学生の世代間交流を図りながら、多くの参加者にVRやAR技術を活用したeスポーツの魅力を体験してもらうことができた。	引き続き、嘉悦大学と連携協力し、高齢者向けeスポーツ体験イベントを実施する。
6-(1)-①	70	—	—	健康づくり自主グループの育成及び支援	健康推進課	健康づくり自主グループの活動を支援するとともに、情報提供やポスター・ちらしの施設への掲示等を行う。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。			—	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシ掲示により活動を支援することができた。	自主グループによる発表会を設けるなど、活動をより活性化させるための機会を創出していく。
6-(1)-②	70	—	—	健康づくりサポーターの育成及び支援	健康推進課	健康づくりに取り組んでいる「健康づくりサポーター」の活動を通じて、地域の区民が身近な場所で自主的に健康づくりを継続できるよう支援する。	・健康づくりサポーターの活動を広報で周知した。 ・各団体がチラシを作成し、活動に関係各所に周知した。 ・区ホームページでも新規団体や活動実績等の紹介を随時更新した。 活動実績:22回 延参加者数:2048人			—	新規5団体の登録により団体数が増加したが、休眠団体も多いため、毎年度末の更新等で活動状況を確認していくことが必要。	・新規登録を希望する団体が多く、今後も増加が見込まれる。 ・既存の団体、新規登録団体について、区ホームページでのサポーター紹介や活動紹介をしていく。
6-(1)-③	70	—	—	ウォーキング&サイクリングマップを活用した日常的な健康づくり	健康推進課	ウォーキング&サイクリングマップを活用した身近な場所での運動や日常生活でのちょっとした運動により、運動習慣の定着を図る。	区有施設をはじめ、希望者にマップを配布して活用を促した。東京都が作成するトーキョーウォーキングマップ(ホームページ)へ、港区が作成したウォーキングコースを6コース反映させた。			—	トーキョーウォーキングマップのさらなる活用と、区が作成する紙のウォーキングマップの再検討が必要。	適宜マップを更新し、最新の情報を区民に提供し、多くの区民に運動習慣の定着を促す。より区民が活用しやすいよう、作成媒体などを検討していく。
6-(1)-④	71	—	—	健康講座の開催	健康推進課	成人を対象とした、生活習慣病の予防、健康の保持増進に関する健康講座を実施する。	体の状態が把握できる姿勢測定や、実践的な運動講座を実施した。 ・実施回数:3回 ・参加人数:55人			—	姿勢測定を行うことで、健康への関心を高めるきっかけとなり、実践的な運動も実施できた。	引き続き、健康への関心を高めるきっかけづくりの提供を行いながら、生活習慣病の予防等を図る。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
6-(1)-⑤	71	—	—	「港区子ども健康読本」の発行	健康推進課	「港区子ども健康読本」をWEB上で公開し、学童期からの健康全般に関する知識の普及を図る。	・小学生がタブレットで子ども健康読本を見ることができるよう対応した。 ・内容の見直しと、学校保健と保健所の情報交換会を実施した。			—	子ども健康読本の内容について定期的な見直しが必要	「港区地域保健と学校保健連絡会」を定期的に開催し子ども健康読本の内容を検討するとともに学校保健との情報交換を行い、学童期からの健康全般に関する知識の普及に取り組む。
6-(1)-⑥	71	—	—	子どもの健康な身体づくりに向けた食育の推進	学務課	「みなと食育ブック ヘルシージュニア育成プログラム（家編）」を活用し、子どもが生涯にわたり健康と体力を維持できる能力を獲得するための食育を推進する。	・「みなと食育ブック ヘルシージュニア育成プログラム（家庭編）」をホームページに掲載し、活用を周知した。 ・学校給食で提供した米粉メニューのレシピをホームページで紹介し、学校での食育との繋がりをもった情報提供を行った。			—	ホームページ等を活用し、家庭での食育の取組を継続的に推進した。	引き続き、家庭での食育の取組を支援していく。
6-(1)-⑦	71	—	—	「親子ふれあいひろば」での催し物の開催	子ども家庭支援センター	子ども及び家庭に関する相談に応じ、必要な支援の実施や情報提供を行う。	スタッフや子育て・まちづくり支援プロデューサーが中心となり、親子参加型のプログラムを毎日実施した。				様々なプログラムを実施して親子の心身の健康増進を図ることができた。	隣接する地域交流室(カフェ)の土日営業に伴い、利用者の増加を見越した親子が楽しめるプログラムを実施する。
6-(2)-①	72	—	—	介護予防を担う人材の養成	高齢者支援課	介護予防リーダーや体操マスター、介護予防サポーターを養成し、介護予防事業や介護予防体操の普及活動事業を実施する。	・介護予防リーダー養成講座を実施：12名養成 ・介護予防サポーター養成講座を実施： ①介護予防総合センター12名養成 ②いきいきプラザ3名養成 フォローアップ研修の実施：2回			—	30代から80代まで幅広い世代の参加があり、それぞれの参加者が興味を持って講座を受けることができた。	引き続き、介護予防総合センターだけでなく他地区のいきいきプラザで講座を開催し、参加者を増やしていく。また、幅広い世代に参加してもらうため、土曜日に講座を開催する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
6-(2)-②	72	—	—	介護予防体操 (みんなといき いき体操)の普 及	高齢者支 援課	介護予防体操(みんなといきいき 体操)の普及を推進する。介護予 防体操を実施するとともに、区民 へのDVDの貸出、動画配信に取り 組む。	・いきいきプラザ等施 設で「いきいき体操」実 施するほか「みなと区民 まつり」「介護予防フェ スティバル」など区のイ ベント等で体操マスター によるいきいき体操披 露を実施した。 ・区内のいきいきプラ ザ等へ依頼に応じ体操 マスターを派遣した。 実施施設19 体操マスター披露回数 18回 体操マスター派遣回数 27回			—	体操マスター活躍 の場といきいき体 操の普及啓発に向 け、披露のほか派遣 事業申込書を作成 し周知した結果、前 年度を上回る派遣 となった。	今後もSNSを活用した動画 の周知を実施するとともに、 更なる体操マスター活躍の場 といきいき体操の普及啓発に 向け、派遣先等確保に積極的 に関わり介護予防体操の普及 啓発を推進していく。
6-(2)-③	72	—	—	介護予防事業の 充実	高齢者支 援課	・運動機能、生活機能、栄養状態 の維持・向上を図るため、魅力あ る効果的な事業や教室を実施する とともに、介護予防事業の普及促 進に取り組む。 ・個々の生活に合わせて多くの人 が介護予防に取り組めるよう、多 様な介護予防プログラムを実施す る。	・「自宅でオンラインエク ササイズ」では施設に来 館せずに自宅で事前事 後の測定・評価を行え るウェアラブル端末を 使用したデジタル体力 測定を導入した。 ・介護予防総合センター だけでなく、各いきいき プラザ等で「低栄養・生 活習慣改善教室」を実 施した。			—	・ICTを活用した介 護予防に関する情 報を区民や各関係 機関等に発信し、連 携する機会を増や すことができた。 ・施設以外でも高齢 者が自らの生活に 合わせて介護予防 に取り組めるよう、 様々な事業を実施 した。	・介護予防事業更なる改善等 に向け、各介護予防実施施設 の代表者会議等を活用してい く。 ・介護予防総合センター(ラ クチャ)が中心となり、いき いきプラザ等関係機関でのオ ンラインレッスンの開催や、文 化的なオンライン講座の開 催、eスポーツ体験会のサ ポート等、ICTを活用した事 業を展開する。
6-(2)-④	73	—	—	認知症予防事業 の実施	高齢者支 援課	ウォーキング等の有酸素運動を中 心とした事業を行う。	有酸素運動やデュアル タスク運動などを行う とともに、社会参加(外 出・交流など)の機会を 提供した。 ・延べ参加者数194人			—	・脳活教室における 満足度は高く、令和 6年度から、実施の 間隔を隔週ではな く、毎週実施するこ とで運動の習慣化 につながった。 ・社会参加の機会と もなった。開催時期 については検討が 必要(夏季は参加者 数が少なかった)。	脳活教室を通じて新たな出会 いもあり、仲間づくりの一つ のきっかけとなっていること から、従来4日間コース(毎 週)であったところを6日間 コース(毎週)とし、更なる運 動の習慣化と社会参加につな げる事業とする。
6-(3)-①	74	—	—	スポーツと健康 づくりをともに 支える環境の整 備	生涯学習 スポーツ 振興課 /健康推進 課	スポーツ活動と生活習慣病やフレ イル等の予防に向けた健康づくり のどちらも相互にできる環境を整 備する。	フレイル予防に効果が あると言われているe スポーツを各地区の高 齢者にとって身近な場 所であるいきいきプラ ザで体験できるイベント を実施した。			—	フレイル予防にも効 果があると言われ ているeスポーツを 身近な場所で体験 する機会を提供で きた実施できた。	引き続き、フレイル予防に効 果があると言われているeス ポーツを高齢者を中心に、多 くの区民に体験してもらう機 会を提供する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和6年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和6年度	令和7年度	令和8年度			
6-(3)-②	74	—	—	健康増進センター（ヘルシーナ）における健康増進の取組の実施	健康推進課	健康度測定事業（メディカルチェック事業）を実施する。健康度測定を受診した人が参加できる健康づくり事業のほか、区民の多様なニーズに応える健康教室や各種事業を拡充する。	令和6年度から新たな指定管理事業者による取組を開始した。 ・健康度測定受診者数：232人			—	指定管理事業者の交代により、長年通う利用者が戸惑うことがないよう、事業内容をほぼ継承する形で引継いだため、今後少しずつ現在の指定管理事業者の独自性を活かしたプログラムを加えるなど、より良く変化していくことが必要である。	・健康度測定を委託している港区医師会からの意見やアイデアもくみ取り、より多くの方に利用し、継続されるようにしていく。 ・引き続き周知活動にも力を入れていく。
6-(3)-③	74	—	—	介護予防総合センター（ラクっちゃ）における介護予防に係る取組の実施	高齢者支援課	膝痛改善教室や健康トレーニング等の介護予防事業や、介護予防の周知につながる区民公開講座の実施など、介護予防に係る事業を総合的に推進する。	・介護予防事業や各種教室を実施し、介護予防を推進した。 ・テーマの異なる区民公開講座を7回開催した。 ・5地区介護予防事業代表者と連携し、介護予防事業プログラムの見直しと改善を行った。			—	・各関係機関との繋がりを広げ、介護予防の推進を図った。 ・ICTを活用した介護予防に関する情報を区民や介護予防リーダー・サポーター等に発信し、連携する機会を増やした。	・多様な生活様式にあった様々な介護予防の事業を実施する。介護予防リーダー・サポーター等のボランティア活躍の機会を増やすとともに、新たに、身近な人へ口コミで発信・収集する「介護予防コネクター」を養成し、高齢者へのサポート体制を強化する。 ・効果分析の結果を区民や各関係機関へ広く発信し、中核施設としての機能を発揮し、介護予防を推進する。